



PRESS RELEASE

2023年8月9日

グリーンボンド発行に関するお知らせ

日揮ホールディングス株式会社

日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO 佐藤 雅之）は、グリーンボンドを発行するためグリーンボンド・フレームワークを策定し、本日、社債の発行登録書を関東財務局に提出いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、この度の発行は当社グループにとって初めてのグリーンボンドとなります。

記

1. 背景・目的

持続可能な社会の実現に向けて、気候変動への対応は世界的な課題となっています。日揮グループは、自らのパーパス（存在意義）を「Enhancing planetary health」と定義し、長期経営ビジョン「2040年ビジョン」において、2040年に向けて解決すべき社会課題として「エネルギーの安定供給と脱炭素化の両立」、「資源利用に関する環境負荷の低減」、「生活を支えるインフラ・サービスの構築・維持」を掲げ、Planetary healthの向上を目指して低・脱炭素化に資する事業や技術の開発に取り組んでいます。

日揮グループは、「2040年ビジョン」の実現に向けた最初の5年間（2021～2025年度）を対象とする中期経営計画「Building a Sustainable Planetary Infrastructure 2025」（BSP2025）において、重点戦略である「高機能材製造事業の拡大」では、EV車向けパワー半導体用高熱伝導窒化ケイ素基板の増産に向けた設備投資計画、「将来の成長エンジンの確立」では、水素・燃料アンモニア、ケミカルリサイクル、持続可能な航空燃料（SAF）等、脱炭素化に資する複数のプロジェクトが立ち上がっています。これらのプロジェクトを推進するための資金調達手段としてグリーンボンドを活用していくため、グリーンボンド・フレームワークを策定し、グリーンボンドを発行することとなりました。

2. 本グリーンボンドの概要

銘柄名	日揮ホールディングス株式会社第8回無担保社債 (特定社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
発行年限	5年
発行予定額	100億円

発行予定時期	2023年9月以降
資金使途	グリーンボンド・フレームワークで定めるグリーン適格基準を満たす以下の事業に係る新規の投資・支出に充当予定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃食用油を原料とする SAF 生産設備への投資 ・ CO₂からの微生物によるポリマー合成技術開発 ・ EV 自動車向け高効率・高出力パワーモジュール用の高熱伝導窒化ケイ素基板に係る設備投資
主幹事証券会社	野村証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、大和証券株式会社、みずほ証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント※	野村証券株式会社

※ フレームワークの策定およびセカンド・パーティ・オピニオン取得に関する助言等を通じて、グリーンボンド等の発行支援を行う者。

3. その他

グリーンボンド・フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則（Green Bond Principles）2021」及び環境省の「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」に則して策定しており、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりこれらの原則・ガイドラインに適合する旨のセカンド・パーティ・オピニオンを取得しております。

また、セカンド・パーティ・オピニオンの取得について、環境省の「令和 5 年度グリーンファイナンス拡大に向けた市場基盤整備支援事業（脱炭素関連部門）」の補助金交付対象となっております。

グリーンボンド・フレームワークおよびセカンド・パーティ・オピニオンについては以下のリンクをご参照ください。

- 日揮ホールディングス株式会社 グリーンボンド・フレームワーク
https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/environment/green-bond/pdf/greenbond_framework.pdf
- 株式会社格付投資情報センター（R&I）セカンドオピニオン
https://www.jgc.com/jp//esg-hsse/environment/green-bond/pdf/secondparty_opinion.pdf

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>

日揮ホールディングス株式会社

戦略企画オフィス 経営企画ユニット

コーポレートコミュニケーショングループ 山上／鎌田

電話：045-682-8026